

## 4 地震が発生したときの対応

—まずはご自分・ご家族の安全確保、そして共助：互近助へ—

(1) あわてず身の安全を確保⇒机の下、安全ゾーンへ



(揺れが収まったら)



(2) 火を止める

(3) ドアや窓を開けて脱出口を確保

(4) 非常持出品を手元に

(5) ラジオなどで正確な情報を確認（SNSには誤った情報もあるので注意）

(6) 家族の安否確認

(7) 在宅避難生活へ（建物の損壊、火災発生の場合には避難所へ）

※ 震度6以上の地震のときは、管理組合から連絡があるまでは、絶対に風呂水、炊事水、トイレの水を流さないでください。下水道が使えない場合があります。



ご自分・ご家族の安全が確保されたら、共助：互近助へ

## 5 共助：互近助 —災害の被害を少なくするための大きな力—

- 災害が発生したときは、「自助」に加え、ご近所の皆さんが助け合う「共助：互近助」が「減災」の大きな力になります。

互いに顔の見える関係になることでより大きな力になります。日頃の挨拶など、普段はほどよい距離感で十分です。

大地震などが発生したとき、防災団は「災害対策本部」を設置して、住民の皆さんの安否確認や救出救護、避難誘導、給食・給水などの初動対応にあたりますが、スカイタウンも高齢化が進み、助けが必要な方が増えています。若い方、動ける方は、ご家族などの安全が確保されたら、是非、本部の応援をお願いします。

- 防災団（自治会・管理組合）では、「共助：互近助」のための災害用備品として  
水、食糧品（基本は各自の備蓄です）  
停電時の井戸からの水の供給のための発電機  
簡易屋外トイレ  
イーバック+チェアミニ（災害・非常用階段避難車）、担架  
などを確保しています。

